

# 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

## 事業名【新】重要寺院遺跡範囲確認調査事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 文化財保護センター 管理調整係 電話番号：058-237-8550

E-mail：c21807@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,700 千円 (前年度予算額： 0 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	8,700	4,350	0	0	0	0	0	0	4,350
決定額									

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

平成31年度から令和4年度に実施した「岐阜県古代・中世寺院跡総合調査」の調査成果から、文化伝承課は、国指定史跡に相当する重要寺院遺跡11寺院を選出した。当センターは、その内の1寺院である栗原九十九坊跡について範囲確認調査を実施し、垂井町等が実施する国指定意見具申に繋げる礎とする。調査成果は岐阜県博物館の全県展開と併せて県民に広く公開し、「岐阜県ふるさと教育」の推進、新たな観光資源の掘り起しをおこなうとともに、「清流の国ぎふ」づくりに活かす。なお、調査は令和5年度から9年度にかけて実施し、最終年度に報告書を刊行する。

### (2) 事業内容

県内最大級の栗原九十九坊跡(垂井町・養老町・大垣市に所在)において、令和5年度はCS立体図を作成し、範囲確認調査に必要な調査坑の設置位置を決めるなど、国指定につなげていく調査方法について検討委員の指導を得る。

(3) 県負担・補助率の考え方  
国庫補助事業（総事業費の1/2補助）

(4) 類似事業の有無  
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	95	調査指導謝金
旅費	348	費用弁償・普通旅費
需用費	39	委員会準備・現地確認用消耗品費
役務費	3	通信運搬費
委託料	8,177	C S 立体図作成業務委託
使用料・賃借料	38	機器借上料
合計	8,700	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

令和4年7月改訂「清流の国ぎふ」創生総合戦略」3(2)④「観光産業の基幹産業化」、令和3年度3月策定「岐阜県文化財保存活用大綱第2章 3本県の文化財の保存・活用を図るために講ずる措置」、平成30年度県民文化局基本方針の「文化財や伝統文化の保存・伝承と文化芸術の振興」

(2) 国・他県の状況

国指定特別史跡等の都道府県の内容確認調査等の実施例としては、福井県（一乗谷朝倉氏遺跡）、滋賀県（安土城跡）、三重県（斎宮跡）、佐賀県（吉野ヶ里遺跡）などがあり、指定前後に調査を実施し国指定公園として整備し保存・活用が実施されている例である。

(3) 後年度の財政負担

令和6年度から8年度前半にかけて範囲確認調査を実施し、8年度後半から9年度前半にかけて整理作業、9年度に報告書を刊行する事業であるため、後年度についても財政負担は必要である。

(4) 事業主体及びその妥当性

文化財保護センター職員が主として実施。

栗原九十九坊跡」は垂井町・養老町・大垣市にまたがっており、分布が広域にわたるため「県が対応することが適当」とされている（「地方自治法第2条第5項」、「岐阜県文化財保存活用大綱第2章」）。また、国の文化財審議会文化財分科会では、指定相当の埋蔵文化財を県自らも調査を実施することが必要と指摘されている（「これからの埋蔵文化財保護の在り方について」）。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

主に垂井町に位置する栗原九十九坊跡について令和9年度までに範囲確認調査を実施し、調査報告書を刊行する。県が積極的に垂井町を支援することにより、県内の他の重要寺院遺跡の活用を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

保存・活用のための発掘調査は、歴史的な位置づけと価値を明確にして遺跡を保存・活用していく上での基礎資料を得ることを目的に実施するため、定量的な指標で表すことが困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和4年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価)	<p>3</p> <p>近年、集中豪雨や地震等に伴う山地災害が全国各地で発生し、岐阜県でも治山対策の推進による山地の強靱化が進められている。栗原九十九坊跡は複数の谷に位置するため、ゲリラ豪雨に伴う崩壊及び次の緊急工事が発生する前の、遺跡の保護が必要な範囲の確認が間に合わなくなる。また、山頂にある中世墓については盗掘前の速やかな調査が必要である。それらの貴重な文化財を周知・保護しつつ治山事業を進める必要がある。</p> <p>出前授業で地元の文化財に興味関心を深め、野外研修での遺跡見学等への活用要望が多くあり、教育上の効果が期待できる。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  <small>3 : 期待以上の成果あり                  2 : 期待どおりの成果あり                  1 : 期待どおりの成果が得られていない                  0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価)	
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか)  <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価)	

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  発掘調査坑設置には土地所有者との協議が必要となり垂井町教育委員会の協力が必要で、県が支援することで国指定具申スケジュールに貢献する。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>                  5年間で実施する計画である。垂井町及び地元栗原地区からの保存活用のニーズが高い。また、当事業に関連する情報を広く公開することで関連市町を始めとする西濃圏域一帯での保存活用の契機とする。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	